



Sudy & Co., Ltd.

1119 Budapest, Mernok u. 39. Tel: +36-1-883-3687

ハンガリー経済情報

2018年02月号

経済指標と財政状況

経済研究所 GKI の発表によるとハンガリー経済は第3四半期には前年同時期比で3.9%増加した。第3四半期のみを見た場合、0.9%増加で第2四半期とほぼ同様の伸びとなっている。2017年第1四半期の伸びは3.8%であった。

特に伸びが顕著であったのは建設セクターの28%であったが、通信事業、エンジニアリングや科学関連事業、小売業でも+6-7%の顕著な伸びを見せている。一方、農業分野では落ち込みが目立ち-10%となった。

経済研究所 GKI は第4四半期の経済成長は持続するとし、2017年度の実質経済成長率は3.8%程度になっている。

2018年はハンガリーは総選挙を控えており、過去のデータから総選挙が行なわれる年は経済に好影響を与えている。2018年のハンガリーの経済成長率は3.8%を予想する。国内需要の回復や投資が好調となることを理由としているが、消費の拡大も非常に期待されている。

2018年経済成長率予測はEU平均を上回るが中東欧地域では最も低い数字であり、この傾向は2018年も続く見込み。同時に輸入の増加を背景に2018年の消費は0.5%程度の拡大を見込んでいる。

インフレ率は予測どおりに上昇すると見られるが、ハンガリー国立銀行が予測する数字を達成する見込みは困難と見られている。国債や借入金などの国の負債の減少は進み、貿易収支や資金調達能力もプラスになる見込み。

JETRO が欧州で業務を展開する日系企業にアンケートを取った結果、人件費の増加が最も頭の痛い問題であるが、今後の動向については希望を持っていると言う結果となった。



Mernok u. 39. ■ Budapest ■ HUNGARY ■ H-1119

Tel.: +36-1-883-3687 ■ www.sudy.co.hu ■ E-mail: sudy@sudy.co.hu

2017年の業績に関して、日系企業の75%が経常収支はプラスとなり、13.4%は昨年同様だと回答している。残りの11.5%は赤字になったと回答した。英国に拠点を持つ日系企業は余り楽観的にとらえておらず、利益をもたらしたと答えたのは71%となった。

日系企業はこれまでも増して進出国を選ぶ傾向にある。ドイツを選択する企業が最も多く、トルコやロシアを選ぶ企業数は減少傾向にある。トルコは政治的状況、ロシアはロシア向けの経済制裁が主な原因となっている。

2017年の最も大きな課題は人材探しであった。ハンガリー、チェコやデンマークで事業を展開する日系企業にこの傾向は強い。ハンガリーで業務を行う日系企業は生産能力の拡大や付加価値の高い製品の製造を計画している。日系企業の64%がハンガリーの市場回復を感じている。この数字はルーマニア、ポルトガルに続いて3位となった。

日本ハンガリー二国間およびハンガリー国内の日系企業関連ニュース

■ GSユアサがハンガリーに電池工場を建設

GSユアサ（本社：京都）は2018年1月11日、88億フォリントを投じ、ハンガリーに車載用リチウムイオン電池の新工場を建設すると発表した。2019年11月から段階的に供給を始める。自動車の電動化に向けて世界の電池大手が大型投資を進めている。エンジンの始動用という独自性のある分野から欧州市場を開拓する。



出所：MTI

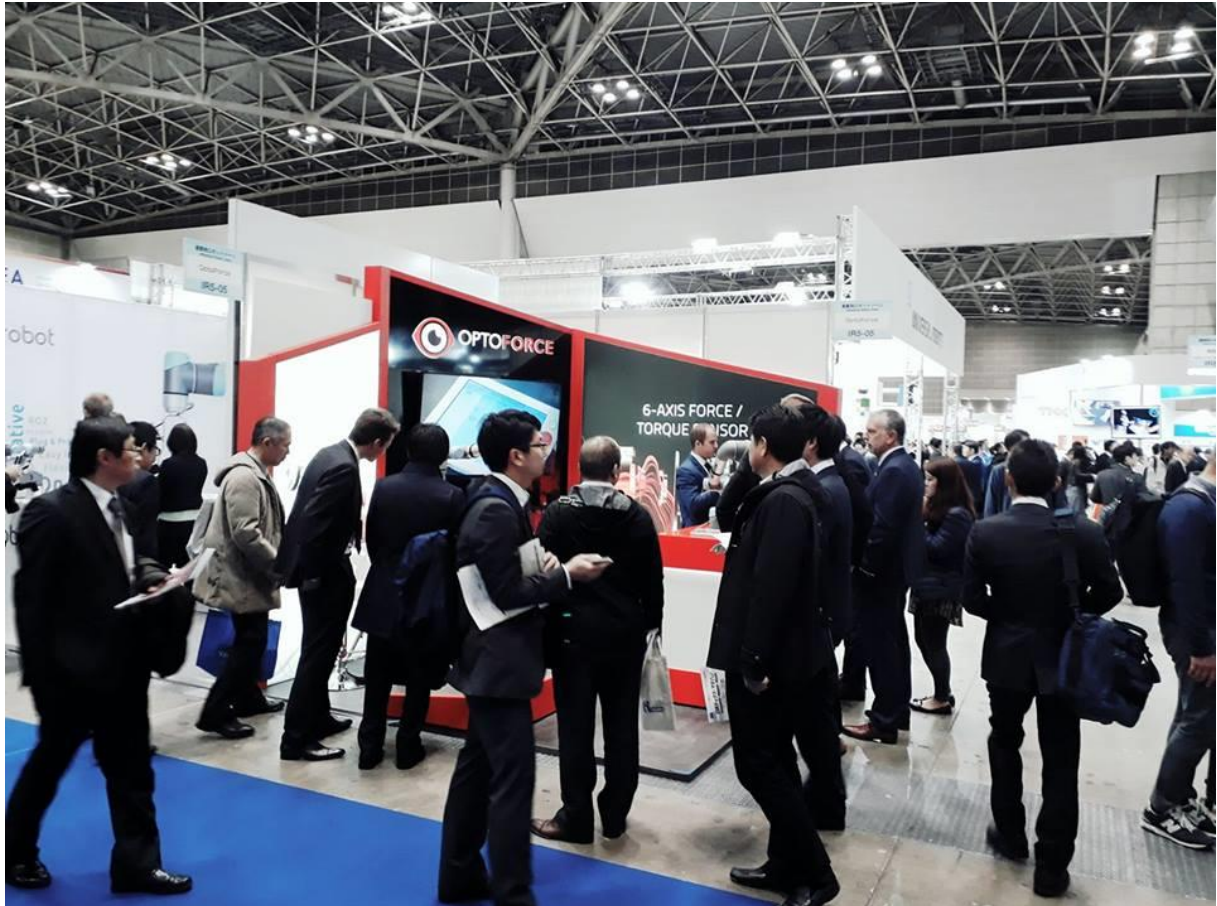
2017年に創立100周年を迎えた同社は、車やオートバイのエンジン始動用の分野で鉛蓄電池の開発、生産や販売を行なっている。同社は現在、世界17カ国に37拠点を保有。1万5千人を雇用する。リチウムイオン電池の生産を開始したのは最近で、地球環境にも優しく、環境への意識が高い欧州で需要が見込めると判断した。

Mernok u. 39. ■ Budapest ■ HUNGARY ■ H-1119

Tel.: +36-1-883-3687 ■ www.sudy.co.hu ■ E-mail: sudy@sudy.co.hu

■ マジダル外務貿易省副大臣による日本公式訪問

2017年12月、マジダル外務貿易省副大臣が2日間の日本公式訪問を行った。東京、京都、大阪、島根などを訪問し、ハンガリーに投資を計画する企業との面談を行った。現在、ハンガリーに対する日本からの直接投資額は1兆2千億フォリント。近い将来、日系日本企業による400-500億フォリントの再投資が期待されている。現在51社の日系企業がハンガリーで営業活動を行う。このうちの大部分は自動車関連企業。今後の投資は自動車関連だけではなく、食品業界や電気を使用する移動分野も含む。ハンガリーの日本向け食料品輸出高は18億円で、この8割は肉製品。また、マジダル副大臣は日本の某スーパーマーケットチェーンと交渉し、ハンガリー産の製品が店頭に並ぶことになったとも発表した。また、マジダル副大臣は国際ロボット展を訪問し、センサーを作るハンガリー企業Optoforce社を訪問した。



出所: Optoforce

■ NHK が新工場設立

ニッパツ（日本発条）は11月24日、ハンガリーにおける自動車用懸架ばね生産会社、NHK スプリング・ハンガリー（ニッパツハンガリー）の新工場を建設すると発表した。

現在、ニッパツハンガリーはハンガリー・タタ市にてコイルばねとスタビライザを生産しているが、受注増加に対応するため、現工場に隣接する新工場を建設する。

新工場の建屋面積は約2万3000平米で投資金額は136億ハンガリーフォリント（約49億円）。2019年11月からの稼働を予定しており、現工場とあわせ、2025年にはコイルばね650万本、スタビライザ250万本の生産を計画している。

Mernok u. 39. ■ Budapest ■ HUNGARY ■ H-1119

Tel.: +36-1-883-3687 ■ www.sudy.co.hu ■ E-mail: sudy@sudy.co.hu

■ブリジストン、欧州工場を強化

ブリジストンハンガリーが 850 億フォリントを投じた開発プランを終了、既存のタタバーニャ工場の拡張を終了した。今回の投資の結果、年間のタイヤ生産数量はこれまでの 180 万本から 360 万本に倍増する。また、雇用数も増加する。同社のタタバーニャ工場はデジタル化が進み、研究開発拠点も設けている。

ブリジストンハンガリーは 2008 年に設立。主にプレミアムカテゴリーに属する乗用車やジープ向けのタイヤを生産する。2013 年にはハンガリー政府と戦略的パートナーシップ合意書に締結している。

■ 東レ、資産効率改善へ

ゾルテックは、ハンガリーに PPS（ポリフェニレンサルファイド）樹脂コンパウンド（複合材料）の生産拠点を新設する。同社は東レの米国子会社で、炭素繊維を手掛ける。東レグループにとって、樹脂コンパウンドを扱う欧州で初めての生産設備となる。自動車の軽量化に向けた需要に応える。樹脂コンパウンドは合成樹脂に機能性を加えた素材だ。

PPS 樹脂は耐熱性や耐薬品性、機械強度、難燃性に優れる高機能素材で、自動車の電装部品やエンジン部品などに使われる。欧州では自動車の燃費や CO2 排出量が厳しく規制され、燃費性能を高めるために部材を樹脂にする動きが加速し、自動車部品メーカーは PPS 樹脂の使用量を増やしている。こうした背景から生産拠点を設ける。

ハンガリーの生産拠点は、ゾルテックが持つ既存の炭素繊維工場のインフラと人員を活用して、PPS 樹脂を試作・生産する。生産能力は年間 3000t で、2018 年 3 月からの稼働を予定している。欧州に PPS 樹脂の生産拠点を設置することで製品評価、試作対応の速度を速め、欧州市場への供給体制を強化するとともに、新規需要を開拓する。

東レグループは現在、日本、中国（深セン、蘇州、成都）、韓国、タイ、米国に PPS 樹脂コンパウンドの拠点を保有し、ハンガリーを合わせると 6 カ国・8 カ所になる。各拠点が緊密に連携して製品開発・評価機能を進めると同時に、現地生産でのタイムリーな供給体制によって、ニーズに対応したきめ細かいサービスを展開する。



2015 年にはハンガリー政府と戦略的パートナーシップ合意書に締結している。 出所：MTI

Mernok u. 39. ■ Budapest ■ HUNGARY ■ H-1119

Tel. : +36-1-883-3687 ■ www.sudy.co.hu ■ E-mail: sudy@sudy.co.hu

■ 郵船ロジスティクスがルーマニアで物流会社を買収

混載貨物事業者（フォワーダー）大手の郵船ロジスティクスは、倉庫運営やトラック・鉄道輸送が主力のルーマニアの物流大手「チベット・ロジスティクス」買収する方針を固めた。同社に全額出資する親会社の英国企業の株式 100%を取得する形で完全支配下に置く。経済成長が続く同国で事業基盤を固めるほか、自動車の産業集積が進む東欧での自動車部品などの輸送需要を取り込む。

チベット社は 2010 年設立で、ルーマニアの首都ブカレスト近郊に本社を置く。国内に 15 箇所の拠点を持ち 1300 名以上を雇用する。保有する倉庫の総面積は 11 万 6 千平米以上。

ルーマニアは近年、年率 4 %前後の経済成長が続き、個人消費が拡大している。製造や小売業分野での投資が盛んとなっている。郵船ロジスティクスはハンガリーにも拠点を持つ。

■ 「ハンガリー農業・食品産業見本市（OMÉK）」の開催終了

ブダペストで 9 月 18 日～22 日の間ハンガリー農業・食品産業見本市（OMÉK）が開催され、谷合農林水産副大臣がハンガリーを訪問。和牛や日本酒の PR を行なった。



■ 鳥インフルエンザの解除

ハンガリーにおける高病原性鳥インフルエンザの清浄性が確認され、2017 年 8 月 28 日から日本向けの輸出が再び開始された。

Mernok u. 39. ■ Budapest ■ HUNGARY ■ H-1119

Tel. : +36-1-883-3687 ■ www.sudy.co.hu ■ E-mail: sudy@sudy.co.hu

参考および出所：

<https://www.nikkei.com>

<https://mainichi.jp>

<http://www.asahi.com>

<https://www.nikkan.co.jp>

<http://www.maff.go.jp>

<https://www.yusen-logistics.com>

<https://bbj.hu>

<https://autopro.hu>

<http://www.omek2017.hu>

<https://www.kemma.hu>

<https://formula.hu>

Mernok u. 39. ■ Budapest ■ HUNGARY ■ H-1119

Tel. : +36-1-883-3687 ■ www.sudy.co.hu ■ E-mail: sudy@sudy.co.hu